

学校教育

「地域に開かれ、地域とともにある学校づくり」の推進

- ・保護者と一緒に育てる
- ・学校に関わる全ての人が子どもの成長のために主体的に取り組み、やりがいや達成感を味わえる学校
- ・安心して登校することができる

ICT 機器を活用した新たな学びの創出と時代に応じた環境整備

- ・一生続く学びのベースづくり
- ・「人、物、事」様々な方法を用いて、自ら学び続けられるように
- ・人と協力しながら学んでいける子 (ICT を使ったとしても)
- ・学んで「分かった」という満足感を感じ、それを大切にしながら学び続ける子
- ・いきいきと自分のやり方で学習できるようになる
- ・正解ではなく、考え方を教える教師でありたい
- ・やるべきことをきちんとやり遂げる
- ・子どもと目標を共にし、学級、学年でつながりのある取り組みを
- ・共育
- ・安心して登校することができる
- ・安心して登校できる、生活できる、その中で成長してほしい
- ・楽しい学校生活(安心安全)

多様性を認める柔軟性とやさしい心の育成

- ・個性を大事にし、社会の一員としての存在を認識させる
- ・誰とでもうまくやっていく能力をつけてほしい
- ・自分が自分らしく生きていける環境をつくりだそうとしている
- ・集団の一人としての自覚と責任を育てたい
- ・持ち味を生かした社会貢献(参加)ができる生き方を見つける
- ・人と比べず自分らしく生きる
- ・「好き」を極めて幸せに生きる
- ・子どもたち一人一人が幸せに生きていくにはどうしたらいいかと一緒に考えていきたい。その力になりたい。
- ・いろいろな考えがあることを知る
- ・違いを受け入れ、自分も友達も大切にできる子どもになってほしい
- ・友達との関わりを楽しみ、お互いを大切にする
- ・思いやり、助け合い
- ・とらににいる仲間を大切にする児童の育成

- ・自分もまわりの人も大切に生きる
- ・自分を大切に相手も尊重する
- ・自分や相手のことを知る
- ・自分に置き換えて考える
- ・人とのコミュニケーション、助けたり、助けられたり、かかわることの良さを感じる
- ・その子の人生が豊かになるためのサポート
- ・自分もまわりも持続可能であるために
- ・社会(クラス)の中の自分と自分の中の自分と使い分けて学ぶ
- ・相手の立場に自分を投影して考えを導き出そうという傾向がある
- ・お互いが幸せであるために
- ・だれも犠牲にしないために
- ・誰かがつらくならないように

主体的に学び、挑戦を続けるたくましい心身の育成

- ・自信をもってほしい。
- ・自ら学ぶ
- ・何事にも意欲的にとりくむ
- ・実行し続ける
- ・ICTにばかり頼らず、労力や努力をおしまない子ども
- ・まわりを見ながら、でも自分で考えて行動する子ども
- ・いろんなことや、もの、人に出会ってたくさんチャレンジしてほしい
- ・自分にできることを全力で！
- ・目の前の行事に一生懸命に取り組めるようにさせる
- ・仲間、人と学ぶ
- ・表現する力をつける
- ・自分の考えを伝える
- ・のびのびと学び続ける児童の育成
- ・真に心身ともに健康に生きていく力をつけてほしい
- ・心身ともに健康で子どもと先生方と楽しみながら成長する！
- ・楽しく学び、ワクワク過ごしてほしい
- ・自分自身がワクワク感を持って生きていることを示すことができる
- ・「一生懸命」だから楽しいが基本
- ・やってみなはれ(サントリーの社長のことば)
- ・失敗してもまた立ちあがってチャレンジしよう
- ・自分の良さや欠点も知ったうえで、丸ごとの自分を受け止めて前に進める子
- ・自分自身を受けとめて前向きに歩み続けられる子どもを育てる
- ・ハッピーな人生を送らせる。自分がハッピーだと感じる
- ・10年先でも役に立ち、自分を助ける力をもってほしい
- ・自分自身が土台となる力を大切にして生きていることを示すことができる
- ・厳しい環境でもなんとか生きていけるように

- ・変化が早くて大きい社会で柔軟に考えて行動できる大人になってほしい
- ・自分はどのように生き、どのように死んでいきたいか、ある程度のビジョンがある。
- ・自らの演奏を通じて出会った音楽家たちと教育活動において出会った子どもたちとの融合
- ・縁あって住むことになった日本！その日本を少しでも好きになってもらいたい
- ・日本が好きになれば(良い思い出があれば)それが後の国際交流につながる

「楽しい授業づくり」のための教職員の育成と環境整備

- ・心身ともに健康で子どもと先生方と楽しみながら成長する！
- ・少しでも互いの幸福度が高くなるような学校運営
- ・自分も楽しくみんな楽しく
- ・なんでも話す、和やか
- ・自分も周囲の人も気持ちよくさせる、職場にしても仕事を充実させる
- ・チーム2年、チームOL、チーム俵口が楽しかったと言えること
- ・継続し、より深めて行きたい
- ・引き続きこれまで通りやっていく
- ・今のスタイルを大切にしていきたい
- ・今やっていることを続けて、一年間の成長を実感してもらう
- ・日々の変化にも対応していきたい
- ・融通無げに対応できる自分でありたい
- ・信念を貫く教師
- ・自ら進んで取り組む教師
- ・我が子と同じように我が子を任せたいと思える教師であること
- ・自分が小学生なら、自分が保護者なら、こういう学校が過ごしやすいと思う学級、学校をつくりたい
- ・人の話を聞き、人の立場に立ち、みんなが過ごしやすい学級、学校づくりをする
- ・積極的なコミュニケーション
- ・生産性のある教師
- ・余裕をもって児童と接したり、仕事をしたりしたい。じっくり考察して取り組む。
- ・信じて待てば伸びる
- ・与えすぎずに待つ
- ・達成感、やりがいを実感できる学校
- ・授業、生徒指導、学級経営等の力をみがき、信頼される教職員
- ・こんな大人になりたいと思ってもらえる人間でありたい
- ・学級の子ども全員と話をする
- ・学校に慣れる
- ・小学校時代の思い出、出来事の1つになったらいいなあ
- ・残業を減らす
- ・教員という役割のみでなく、色々な自分を大切にしたい
- ・仕事も家も自分も三位そろっての充実をめざす